

## 平成 26年度 とちぎ夢大地応援団 カレッジ活動

### 「佐野市上仙波地区」

#### 第3回活動報告 H26・12・13(土)

第3回とちぎ夢大地応援団カレッジ活動が12月13日、佐野市上仙波地区で足利短期大学の学生やとちぎ夢大地応援団員、関係者ら19名が参加して行われました。

今回のカレッジには、足利短大のこども学科1年生で大田原市須賀川の第1回カレッジ、栃木市大柿の第2回カレッジに参加した学生の中から7名と同短大の教職員3名、鳥獣管理士の資格を持つ夢大地応援団員らが参加して、里山と集落の境界部にシカ侵入防止用のメッシュフェンスを張るというかなりハードな作業に取り組み、約200mにわたって柵を設置しました。

カレッジ活動を受け入れた仙波地区むらづくり推進協議会の野部利司会長は「高齢化のなか若い人の支援はうれしい。活動を通して中山間地域の問題に関心を持ってほしい」と話していました。また参加した学生は「カ仕事だったが、ふだんできない体験ができ、楽しかった」とボランティアの喜びを語っていました。



自分たちが設置したシカ侵入防止柵の前で記念撮影



野部会長（右端）の歓迎あいさつを受ける足利短大学生ら





まずは約 2m 四方のワイヤーメッシュ柵を設置場所まで運搬



ひとりで背負って運ぶ力持ち女子学生も



設置場所はこんな所（この辺は条件の良い所）



野部会長(右手前)の指導を受けながら鉄筋の支柱とフェンスを結束する学生





午前中 2 時間、午後 2 時間の作業で約 200m の柵を設置しました



昼食は地元の人たち特製の有名な仙波そばが振る舞われました（高齢者センター）



昼食後の地元の人たちとの交流